

第4回
定例会

一般質問から

市民クラブ
木下八重子
議員

「日本で最も美しい村」連合への加盟について

質問 市長は様々な場で、江部乙地区は自然の景観が素晴らしいと話されている。この江部乙地区の連合への加盟を進めているとお聞きしているが、この連合とはどういう団体なのか、加盟に向けた取り組みについて伺う。

答弁 平成17年に美瑛町や岐阜県白川村などの7町村が「フランスの最も美しい村」連合に共感し発足した団体です。加盟要件として人口が1万人以下、地域資源が2つ以上、連合が評価する地域資源を活かす活動がされていることなどがありません。加盟に向けて一番大事なことは地域の皆さんの機運の盛り上がりと考えています。平成27年の加盟を目指し進めていきます。

近隣病院との連携について

質問 公立病院の医療連携が必要と考えるが、市立病院では公立病院、民間病院、診療所との連携の取り組みが進んでいるのか伺う。

答弁 市立病院の医療連携については、砂川市立病院との患者紹介、外来診療の連携のほか、市立病院から市立赤平総合病院へ麻酔科医師、市立芦別病院へ整形外科医師を派遣するなどの連携を行っています。市内の病院との連携については、地域医療室を介しての患者紹介、検査依頼などを積極的に行っています。今後も自治体病院や地域病院との医療連携に取り組んでいきます。

学校図書館の充足率について

質問 学校図書館の蔵書が「学校図書館図書標準」を満たさず国の基準を下回っている学校が多いと聞いているが、本市の実態を伺う。

答弁 全国の公立小・中学校における達成割合は、小学校56・8%、中学校47・5%です。本市では小学校33・3%、中学校50%となっています。

新国会
関藤 龍也
議員

文部科学省指定事業について

質問 「英語力を強化する指導改善の取り組み」と教員の指導力向上はどのように図られているのか。

答弁 小中高の連携・協力による実践研究を行い、一貫的な英語教育の充実と指導改善により成果を上げています。また、西高、中学校の英語教員全員と西小の教員が研究実践に参加し、最適な指導方法の改善に努めています。

質問 全小中学校において、語学力の具体的な目標（英検など）を設定した指導を行うことについての考えは。

答弁 西高では、実用英語技能検定の準2級が5年前から4倍に、2級では2名が22名へと飛躍的な合格者数となりました。また、全中学校でリストにより学習到達目標を細かく設定しています。

質問 退職教員等外部人材活用事業について、配置の状況と成果は。

答弁 生徒の学力向上を図ると

もに若手教員の育成を行うことを目的とし、現在、滝川第一小・東小・西小・江部乙中で退職教員が学習指導に当たっています。成果として全国学力・学習状況調査の基礎問題で全道平均を上回る数値が得られています。一方、応用問題では読解力の課題があるため、学びサポーターによる人的支援を図り、学力向上に取り組んでいます。

不登校生徒に対する進路指導について

質問 進路指導と支援対策はどのような行われているのか。

答弁 電話連絡や家庭訪問を繰り返して行うことにより、学校との繋がりを保ち、自信回復と進路に対する指導を積み重ねています。

質問 生徒だけでなく保護者も悩み苦しんでいる。学校と連絡を密に取りフォローすべきではないか。

答弁 長期欠席の生徒に対しては、教育委員会に報告書が提出され、現状を把握し指導に当たっていますが、保護者に対しての対応についても適切な指導、丁寧な対応をするよう学校に指導していきます。